

# myらいふ

No.139 平成25年11月25日発行

### ● 紙面のご案内 ●

- 1 面：かぬま学びフェスティバル '13
- 2・3面：宮沢賢治の詩と童話の世界、朗読講座、  
たのしい押し花、さあ！男の出番です！
- 4 面：プチワールドマーケット、新編集員募集、  
江戸しぐさ、編集後記

☆鹿沼市では、「まちへ広がれ！学びの輪」をスローガンに、さまざまな活動と人々のきずなが地域へ広がり、市民と行政等が連携・協力し合う地域づくり・まちづくりを目指しています。



myらいふは、市民編集員が取材・編集する生涯学習情報紙です。

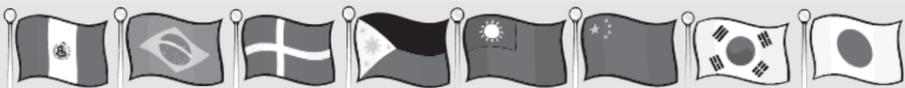
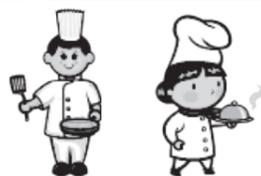
## 今こそ輝け！「かぬま学びフェスティバル'13」開催



10月19日（土）20日（日）にかぬま学び「フェスティバル'13」が開催されました。会場は、市民情報センター・文化交流館・川上澄生美術館・図書館本館です。かぬま学びフェスティバルは平成18年から毎年この時期に開催されている、市民の皆さんの生涯学習の成果を発表するイベントです。生涯学習大学の講座やサークル活動などにおいて、これまでに自分の取り組んできた学びの成果を発表するために、今年もたくさんの実演や模擬店の出店、そして展示や体験のコーナーが設けられました。

実演ではダンスや音楽の演奏などが、展示や体験のコーナーではクレイアートやフラワーアレンジメントなどが、そして屋外では模擬店としてポトフや焼きそばなどの出店があり、会場内の至る所でたくさんの方々が発表がありました。どの発表も、この日のために懸けてきた発表者の思いがひしひしと伝わってきました。会場には大勢の参加者でにぎわい、皆さん足を止めて熱心に見入っていました。

このように2日間にわたって開催されたかぬま学びフェスティバルは、とても内容が充実したイベントとなり、大盛況のうち幕を閉じました。多くの参加者が生涯学習の意義を実感したのではないのでしょうか。このイベントをきっかけに、もっと学びの輪が広がって、さらに生涯学習が盛んになってほしいと思います。



## 身近な場所で異文化交流!!

9月8日（日）まちなか交流プラザとその周辺を会場とした、鹿沼市国際交流協会が主催する「プチワールドマーケット」を取材してきました。

第二回目の開催となった今回のプチワールドマーケットは、世界の料理や民芸品などの紹介や販売、文化体験やミニステージでの発表など、たくさんの方が目白押しで、子どもからご年配の方まで丸一日楽しめるイベントとなりました。

ミニステージではたくさんの方の発表がありましたが、その中でもカポエイラの披露がとても印象的でした。カポエイラとは、格闘技とダンスが融合したブラジルの国技です。パーカッションが奏でるリズムに合わせたダイナミックな動き



き、はじめは皆圧倒されていました。途中からは力アマンとたくさんのおもたけが参加して大盛況でした。

また、世界の料理の紹介として、中国の肉まんや韓国のトッポギ、フィリピンのピナパラ（バナナ春巻き）などたくさんのお店のあり、さまざまな国の料理を堪能することができました。

参加者の方に感想をお聞きすると、「めずらしい料理を食べることができたりして、本当に楽しむことができました」と話してくれました。

あいにくの雨の日でしたが、会場にはたくさんの方が訪れ、皆さん異文化交流を心から楽しんでいました。

### 生涯学習情報紙「myらいふ」編集員募集（予定）



市民編集員として生涯学習情報紙の発行に参加しませんか？

講座やイベントなど様々な学びの場を取材して「myらいふ」を発行します。（年3回予定）あなたの行動力とセンスで鹿沼市の生涯学習情報紙を発信し、たくさん学びを届けましょう！！

● 募集人数  
5名程度（任期2年）

● 応募資格  
市内在住の方で、年間9回程度の編集会議と5回程度の取材に参加可能な方

● 応募方法  
所定の応募用紙でお申し込みいただきますが、詳しくは広報2月号・市ホームページ等でお知らせします。



### 江戸しぐさ

「江戸を支えた 共生の知恵」

「念には念を入れよ」といいますが、江戸の人々はひよつとすると現代人よりも用心深かったのかもしれない。例えば、江戸の商人などは、店の戸締まりがしっかりできているか何度も確認したそうです。当時は一度泥棒に入られれば、それだけで身の破滅につながるの、特に念入りだったのです。

もうすぐ寒い冬がやってきます。火や電気を使う場面が増えるので、火事には気をつけたいですね。ストーブの火は消したか、こたつの電源は切ったか、今年は例年よりも念入りに確認してみてくださいいかがでしょうか。

### 編集後記

秋はイベントが目白押しですが、今年は週末ごとの台風により、幾つか中止になったよつて残念です。しかし参加したイベントは、どれも心を晴れやかにしてくれるような素敵なものでした。この冬は寒いらしいですが、気持ちを熱く持って、寒さに負けないよう過ごしたいと思います。

福井公美子